

活動概要

本学と有名百貨店とのタイアップ企画。デパート地下食料品売場で購入する弁当やスイーツが、美味しく・楽しく、その上、ヘルシーやビューティーの要素も強化されたものを、働く女性を元気に支援する商品として開発を行うプロジェクトである。食物栄養学科・食生活学科、及びブラウンライスボランティア活動に参加する学生が、大丸百貨店梅田店に入店する有名食品（デリカ、スイーツ）各社との共同開発により、栄養的価値のある弁当やスイーツを考案、製品化し、実際にデパートにて販売するものである。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	大学生とコラボ：管理栄養士・栄養士をめざす学生たちが大丸百貨店梅田店と一緒に商品開発に参加
対象となる地域・企業等	大丸百貨店梅田店
活動学生（ゼミ・学年等）	食物栄養学科・食生活学科の学生、ブラウンライスボランティアのメンバー
連携時期	春の行楽シーズンの企画。2015年4月から取り組みを始めている。
学外への広報方法	学院HP、SNS、学科内広報誌「浜風」、鳴松会報及びHP、大丸百貨店を通じた広報
連携内容	<p>日常に見られる衣食住に関わる文化や風習において、最先端の流行やファッションを生み出している百貨店、大丸梅田店と食物栄養学科・食生活学科・ブラウンライスボランティアの学生たちとの連携による商品開発のプロジェクトを実施している。</p> <p>プロジェクトは、「大学生とコラボ 元気満開！ 美味爛漫 WEEKS」と銘打って大丸梅田店に入店する有名食品（デリカ、スイーツ）各社との共同開発により、栄養的価値のある弁当やスイーツを考案、製品化し、実際にデパートにおいて販売する試みである。</p> <p>食と健康を支えるスペシャリストの「管理栄養士・栄養士」をめざす学生たちが、商品開発に参加する。商品には食品や調理の知識と技術の他、体の仕組みや環境など、様々な角度で学ぶ視点を生かして考案し、デパート側のプロフェッショナルと一緒に試作と議論を繰り返しながら開発を進める。完成した商品は大学において栄養素を分析し、働く女性として特に意識したい栄養成分を表示するなど、食育にも注力している。また、開発した商品がどうすれば“売れる”商品になるのかというマーケティングの知識もプロから学習している。</p>
成果	随所に栄養的工夫を凝らした弁当やスイーツは販売数を増やした。アカデミアと地域社会の商工業、ならびにデパートという大企業のシニアマネジメントとの交流活動を展開できるようになった。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

2015年度から実施し、双方に好評であったことから、翌年度も実施した。学生たちは自分たちが開発した商品を自分たちで宣伝して実際に販売した。商品開発においては、学修した栄養学や調理学、体の仕組みや環境などに係る知識を活用するなど、知識・技能の実用性が習得でき、販売体験においては、市場の食品の流通、温度管理の実態などのマネジメントを学ぶことができた。デパート側では、開発した商品の販売数を増やすことができた。このような地域社会の活性、産業振興、商工業等との交流活動はさらに積極的に実施していく予定である。

活動内容PR（活動の様子・参加者の声等）

生活文化におけるトレンドリーダーとなる、百貨店、大丸梅田店と、食物栄養学科・食生活学科・ブラウンライスボランティアの学生たちとの連携によるプロジェクトである。

プロジェクトは、[大学生とコラボ 元気満開！ 美味爛漫WEEKS]と銘打って大丸梅田店に入店する有名食品（デリカ、スイーツ）各社との共同開発により、栄養的価値のある弁当やスイーツを考案し、製品化し、実際にデパートにて販売するものである。コンセプトは、ヘルシー・美味しい・楽しい、である。

働く女性を対象に、[栄養バランスも意識しながら美味しく楽しく元気に!]や、[赤・黄・緑・白・黒の5色の食材を散りばめて!]をテーマに、弁当やベーカリー、スイーツを企画開発し商品化に参加した。学生たちが考案した提案書をもとに、店舗側が数々の試作品を作成し、学生たちと各ショップの店長が意見を交わし、完成を目指した。

以下は商品開発に参加した、学生のコメントである。

「[鳴門金時の濃厚CCタルト]：出身地の名産品である鳴門金時を目立つようにし、さらに好物のチョコレートをハートの形にした点が工夫点です。名前のとおり濃厚で、チーズとチョコレート・さつまいもの3つの味を味わうことができ、美味しく感動しました。」

「[プチプチお寿司の玉手箱]の工夫した点は、見た目が綺麗で華やかで夢があるように刺身を薔薇の花に見立てて飾りつけたこと、寿司飯に『とびこ』を混ぜることで、プチプチ食感を演出したことです。」

「[大豆パワーたっぷり弁当]は、大豆・黒豆・枝豆・豆腐・油揚げ・高野豆腐等、大豆・大豆製品をふんだんに使って、大豆と和食の良い点を強調したことです。さらに全体が茶色く沈んだ雰囲気にならないように、トマトの赤色やひじきの黒色、ふき（緑色）、かぼちゃ（黄色）を組み合わせて、色彩に気をつけました。」

なお、朝日放送、大阪TV、NHK、読売新聞等のパブ取材や、医療系情報新聞 Medicament News掲載の取材も受けており、この企画の認知度は高まっている。

